

泉崎村人口ビジョンの考え方（案）

<p>現状の把握</p> <p>過去から現在に至る人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、講ずべき施策の検討材料を得ることを目的として、時系列による人口動向や年齢階級別の人口移動分析を行います。</p> <p>○泉崎村では他の多くの自治体と同様、戦後の復興やベビーブームに伴って昭和 22 年に人口が大きく増加し、昭和 25 年には 6,957 人と人口のピークを迎えています。</p> <p>○その後、昭和 50 年まで人口が減少していますが、これは我が国の高度経済成長に伴う首都圏等への人口流出が主な原因と考えられます。</p> <p>○昭和 55 年以降は、東北自動車道や東北新幹線、さらに福島空港に近い好立地を生かし、人口が増加していますが、平成 7 年以降は全国的な少子高齢化の影響により、ゆるやかに減少していますが、平成 22 年には微増しています。</p> <p>人口減少の影響</p> <ul style="list-style-type: none">・ 経済規模の縮小・ 社会保障制度の維持が困難・ 地域社会衰退が懸念	<p>分析</p> <p>1 将来展望に必要な調査・分析</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 結婚・出産・子育てに関する意識・希望調査(2) 働くことに関する意識・希望調査(3) 高校、大学等卒業後の進路希望調査 <p>2 目指すべき将来の方向性</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の将来推計等から泉崎村の「自然動態」「社会動態」それぞれの対応として</p> <ul style="list-style-type: none">○若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現○若い世代を中心とした幅広い年齢層の村内定着、村内回帰の政策実施 <p>などの方向の提示が考えられる。</p> <p>自然減対策</p> <p>出生率を向上させ人口の自然減を食い止める</p> <p>社会減対策</p> <p>人がとどまり、呼び込める環境づくり</p>	<p>人口の将来展望</p> <p>右肩上がりの社会の価値観ではない、新しい価値観を持ち、地域を新しく創り変える。</p> <p>自然増減の仮定</p> <p>自然減対策（出生率向上による人口の維持） 人口を維持させるための政策を展開</p> <p>社会増減の仮定</p> <p>社会減対策（地域間連携の促進） 地域の実情を踏まえた連携を実施し、地域に必要な政策を重点的に推進</p> <p>人口の将来を展望する</p> <p>総人口や年齢 3 区分別人口等の将来展望を行う。</p>
--	---	--

泉崎村総合戦略のイメージ（案）

<p>基本視点</p> <p>泉崎村の未来を担う若者の希望がかなえられる魅力ある地域を創生する（仮）</p> <p>右肩上がりの社会のそれとは異なる新たな価値観の下、地域を新しく創り変えるため、次の2つの視点から人口減少に挑戦</p> <p>①「人口減少そのものへの挑戦」</p> <p>子どもを生みたい人の希望をかなえることなどにより、人口減少自体を解消しようとする試み</p> <p>②「人口減少社会への挑戦」</p> <p>人口減少は当面継続することを正面から受け止め、人口減少に伴う地域の変化に柔軟に対応し、人の流れを泉崎村に向けて変えようとする試み</p> <p>計画期間</p> <p>おおむね5年間 （平成27年～31年）</p> <p>推進体制</p> <p>①PDCAサイクルの構築</p> <p>重要業績評価指標（KPI）により政策の効果を検証し、改善を行うPDCAサイクルを構築</p> <p>②村民参加による推進</p> <p>「泉崎村地域創生・人口減少対策委員会」において戦略の立案・推進・評価を実施</p>	<p>基本目標</p> <p>1 ひとを育む</p> <p>結婚から子育てまで切れ目のない支援を行うことにより、結婚・子育ての希望をかなえる。</p> <p>2 しごとをつくる</p> <p>新たな仕事や雇用を産み出すことにより、人口の県外流出を食い止める。</p> <p>3 ひとの流れをつくる</p> <p>移住・定住の促進や企業等の誘致を通じ、地域の将来を支えるひとを呼び込む。</p> <p>4 安心をつくる</p> <p>人口・世帯構造の変化に対応し、暮らしの安心をつくる。</p> <p>5 まちをつなぐ</p> <p>地域間連携を推進することで、地域の課題解決を図る。</p>	<p>主な施策</p> <p>1 ひとを育む</p> <p>(1) 結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援</p> <p>①非婚化・晩婚化対策</p> <p>②妊娠を望む夫婦の経済的負担の軽減</p> <p>③子育て支援の充実</p> <p>④子育て世帯・多子世帯に対する経済的支援</p> <p>(2) ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <p>①仕事と家庭の両立支援</p> <p>②女性の活躍支援</p> <p>2 しごとをつくる</p> <p>(1) 企業誘致等の促進</p> <p>①企業誘致による雇用創出</p> <p>②地域企業の競争力強化による雇用創出</p> <p>③若年層の流出防止</p> <p>(2) 観光産業の基幹産業化</p> <p>①国内外からの観光誘客</p> <p>②観光地の再生</p> <p>(3) 産品の販路拡大</p> <p>①村産品の販路開拓</p> <p>②農林畜産物の販路開拓</p> <p>(4) 未来につながる農業づくり</p> <p>①農業生産基盤の強化</p> <p>②農業の6次産業化の推進</p> <p>③農業の担い手の育成・確保</p>	<p>(5) スポーツによる地域活性化</p> <p>①スポーツによる地域振興</p> <p>(6) 文化・芸術の振興</p> <p>①地域の文化財・民俗芸能の保存・継承</p> <p>3 ひとの流れをつくる</p> <p>(1) 移住・定住の促進</p> <p>①首都圏を中心とした移住・定住の情報発信</p> <p>②地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築</p> <p>4 安心をつくる</p> <p>(1) 暮らしの安全・安心の確保</p> <p>①地域コミュニティの再生と活性化</p> <p>②空家等対策の推進</p> <p>③地域防災力の強化</p> <p>④公共施設等の戦略的な維持管理</p> <p>(2) 医療と福祉の充実・連携</p> <p>①医療と福祉の連携</p> <p>②地域医療の充実</p> <p>③地域における福祉の支え合い活動の促進</p> <p>5 まちをつなぐ</p> <p>(1) 地域間連携の推進</p> <p>①しらかわ地域定住自立圏構想の推進</p>
--	--	--	---